

様式1 令和2年度 山梨県立塩山高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	
本年度の重点目標	確かな学力の定着
	「しなやかな心」を持つ調和のとれた生徒の育成
	健やかな体の育成と安心・安全な学校づくり
	甲州市域唯一の高校としての使命の自覚と開かれた学校づくり

山梨県立塩山高等学校校長 初鹿野 仁

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自己評価			年度末評価(3月1日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	自己評価結果	達成度	
1	確かな学力の定着	授業内容・指導方法の工夫	授業アンケートの実施、相互授業参観の設定	・授業の分かりやすい工夫を行っているという質問項目に生徒は79%が「そう思う」の評価をしている。 ・週末課題、商業科での検定指導などを実施することで、家庭学習習慣の定着を図った。 ・本校独自の「学び直し」に関しても教科において各単元毎に実施し、学力の定着を図っている。	B
		家庭学習の習慣の定着	生徒自身の活動と自己評価		
		学びの基盤となる読解力の向上	授業アンケートの実施、シラバスの達成度の調査		
2	「しなやかな心」を持つ調和のとれた生徒の育成	規範意識の養成と基本的生活習慣の確立	アンケートの実施と活動実績の検証	・服装や頭髪などで指導される生徒も少なく、日常の挨拶もよくなるようになってきた。挨拶や服装などの基本的生活習慣を身に付けるよう努めていると答えた生徒が93%であった。 ・各々が、地域でのイベント・行事等に積極的に参加した。新型コロナの影響で学年毎の清掃活動はあまりできなかった。 ・支援が必要な生徒、不登校傾向にある生徒、心に悩みを持つ生徒に対してのスクールカウンセラーによる教育相談にも丁寧に対応してきた。 ・バイク通学者に塩山教習所での実技指導を定期的に行うとともに、全校生徒を対象とした交通安全講話を実施し、交通安全の意識を高めた。	B
		福祉・ボランティア活動と環境美化活動の推進	アンケートの実施と活動実績の検証		
		教育相談の充実	スクールカウンセラーによる定期的な教育相談の実施、校内研修の定期的な実施		
		交通安全教育の推進	アンケートの実施と活動実績の検証		
3	健やかな体の育成と安心・安全な学校づくり	規則正しい生活習慣の定着を図るとともに、食育の推進を図る。	生徒自身の活動と自己評価	・食事の大切さや親への感謝の気持ちを育む「お弁当の日」の実施は5年目となった。 ・定期的にいじめアンケートを実施し、懸念される事案には生徒指導部と学年が共同して対処する体制であり、大きな問題は起こらなかった。 ・急な連絡事項についての連絡も一斉メール学校HPで確実に配信された。	B
		職員の情報共有・連携体制を確立し、いじめや不登校のない学校づくりに努める。	職員間の連携と情報の共有化、「報・連・相」の徹底		
		危機管理マニュアルにそった日常実践に取り組む。	一斉メールシステムの構築		
4	甲州市域唯一の高校としての使命の自覚と開かれた学校づくり	一人ひとりの進路目標の実現を図る	アンケート及び進路実績の検証	・進路指導が適切に行われているという回答が生徒は90%、保護者は94%であり、進路指導が一定の成果として表れることとなった。 ・総合的な学習の成果発表会を甲州市副市長、同教育長、県教委指導主事に参加していただいた中で行った。地元企業と共同で商品開発を行った。 ・HPの更新は各行事毎に頻繁になされており、学校の教育活動、生徒の取り組み等をより知ってもらえた。	B
		保護者や地域、中学校等との連携を深め、様々な交流を推進する。	授業公開・出前授業の実施		
		HPや学校だよりを充実させ、教育活動や生徒の取組状況を積極的に発信する。	HPの定期的更新、地域や中学校への広報活動		

学校関係者評価	
実施日(令和3年3月8日)	
評価	意見・要望等
4	・生徒は落ち着いて授業を受けている。将来の職業選択を現実味を帯びて、知識修得の大切な3年間と意識している感じをうけた。 ・指導方法の改善は永遠の課題なので学校として粘り強く取り組んでほしい。 ・生徒減をうまく利用し、個人に寄り添った授業であった。家庭学習は1年時より早めに将来を意識させることが重要である。 ・英数コースの知名度を上げる必要があると思われる。また、普通科の大学進学率を高めていただきたい。
	・生徒は落ち着いて学校生活を送っているように見える。清掃もよく行き届いている。個々の生徒については個別の課題があると思われるので、教師一人ひとりの努力と教育相談の充実など一層の取り組みを期待したい。生徒対象の学校評価の中で、生徒の実践目標である自身を鍛える。社会に目を向ける、マナーを守るの達成度が上がるよう指導を期待したい。 ・全国的に生徒の大幅な減少時代を迎えている。夢と可能性にあふれた学習活動の展開できるように引き続き議論が必要と考える。 ・今年は難しかったが、地域との交流活動は続けてほしい。生徒に新たな活動を考えさせたらどうか。 ・カウンセラー制度は評価できる。更なる充実を期待します。
	・規則正しい生活習慣の定着や食育の推進などで成果を上げている。新型コロナウイルスの影響で大変な一年であったが、学校全体で乗り切ってきたように感じた。校内の各種会議が一層活用されることを期待する。また、危機管理マニュアルについては職員全員が役割を理解している必要がある。 ・規則正しい生活習慣の基本は、しっかり朝食を摂ることで心身の安定と集中力が培われる。 ・職員の情報の共有化、連携体制はよく回っている。
3	開かれた学校づくり、一人ひとりを大事にした進路指導などきめ細かな教育活動が行われていると思う。新型コロナウイルスの影響で制約を受けたところもあったが、開かれた学校づくりに向けて限られた条件の中で粘り強い取り組みを行った。今後に向けて見直しや新規事業の発掘もお願いしたい。 ・普通科、商業科の総合性高校として地域に密着した特色高校として教育活動を続けて欲しい。 ・ボランティアや企業とのコラボなど積極的に参加してほしい。生徒の取り組みを定期的にHPで知らせた方がよい。

※※※ (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。